

## 豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、13年継続で点検・評価に取り組み、必要な改善や実情に応じた区分・事務事業の見直しが行われ、年々充実したものになってきている。

「就学前教育」及び「学校教育」については、10事業中A評価が合わせて4事業、B評価が5事業、C評価が1事業である。特に、「特別支援教育総合推進事業（早期からの教育相談・支援体制構築事業）」については、特別な支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にあり、今後も迅速かつ的確な対応が求められる。「心の問題への対応」についても、特に教育相談の果たす役割は今後も重要であり、期待以上に評価できるとした。また、「小・中・高校、幼稚園・保育園所の連携」や「特別支援教育総合推進事業」については、豊前市の特色ある取組として、さらなる充実を期待する。一方、学校施設の老朽化に伴う修理・修繕、特にトイレ改修については、策定済みの長寿命化計画を参考に、今後の学校の適正化も踏まえて、計画的な施設管理を進める必要がある。

「社会教育」については、7事業全てがB評価である。「体験学習の推進」等は少子化による子ども会活動等の低迷が顕著化しており、事業再編等の検討をお願いしたい。「学習機会の提供」は、引き続きハートピアぶぜんやヤルディぶぜんの個別施設計画に基づき、別施設での活動の継続を含め推進をお願いしたい。また、「地域活動の拠点としての体制整備」は、地域づくり協議会の活動拠点としての公民館の更なる充実を期待したい。

「スポーツ振興」については、3事業中2事業がB評価で1事業がC評価である。「総合型地域スポーツクラブ」は、地域密着の原点に立ち返り、住民が老若男女問わず幅広く参加できるような活動を期待したい。「体育施設の整備」は、住民が安全安心に利用できるように施設整備を行うのはもちろんだが、市民サービスの原点に立ち返り、住民が等しく自由に施設の利用ができるようお願いしたい。

「生涯学習」については、4事業中3事業がB評価で、1事業がC評価である。「豊前市生涯学習推進基本計画」は、地域づくり協議会の推進を図る行政の体制づくりの根幹をなす計画であり、「生涯学習プログラムの構築」や「市役所職員による出前講座」も併せて全庁的な取組とし、第2次計画に反映するようお願いしたい。

「文化財の保護と活用」については、5事業いずれもB評価である。「国史跡『求菩提山』の整備」は、地元と協議・工夫し、出来ることから迅速に実施していただきたい。「各種情報の発信」は、郷土の歴史等を学校教育のカリキュラムに位置づけ、活用に大いに期待したい。「保存と伝承活動の支援」は、国・県・関係団体との連携を更に密にし、次世代の子どもたちへの支援を推し進めることで、今後も国重要無形民俗文化財である「豊前神楽」や「感応楽」の継承に努めていただきたい。

「芸術文化の振興」については、3事業ともB評価である。「文化事業の実施、場の提供」は、指定管理者と連携を強化し、市民の要望に沿った文化活動の実践をお願いしたい。また、関係部署と協議し、豊前市市民会館の在り方についての検討をお願いしたい。「豊前市立図書館」も、指定管理者と連携を強化し、市民の要望に沿った蔵書の確保と「学校図書館との連携」の充実をお願いしたい。

令和元年度の全体の評価としては、概ね適正に実施され、各係において創意工夫された取組がなされている。

教育委員会は、常に教育現場や地域住民の声を把握し、充実と改善に努められたい。

令和2年11月10日

森重高岑  
戸田章